

修士(社会起業経営学)ディプロマポリシー

● 国際社会起業家プログラム

国際大学学則で規定されている本学の目的と国際経営学研究科の教育研究上の目的を達成するために、国際社会起業家プログラム(ISEP)は修士(社会起業経営学)の学位を取得するために必要な修了要件と学修の目標を次のとおり定める。

<学修の目標と目的>

修士(社会起業経営学)の学位課程では、以下の知識、スキル、学術的態度の修得を学位授与の条件とする。

学習・習得目標	学習・習得後のあるべき能力
<p>多文化・異文化理解と対応能力</p> <p>学生は、世界中のさまざまな背景を持った人々の特性や違いに対して優れた感受性と対処能力を持ち、皆が同意しうる共通目標を確立する能力を有する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 世界中のさまざまな背景を持った人々の、それぞれに異なった視点や意見に対して優れた感受性を行動で示すことができる ■ 世界中のさまざまな背景を持った人々の持つ、異なった視点(ときに相対立している場合もある)を前提としつつ、なおも共通して合意できる視点を発見し明確化することができる ■ 多様な国際的背景を持つ人々との適切なコミュニケーションスキルを新たに獲得してゆくことができる
<p>社会的責任意識</p> <p>学生は、関係する個人や集団が賢明かつ社会的責任を熟慮した意思決定を行うように働きかける姿勢を有する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会的責任を全うするリーダーシップについての概念と取るべき行動について理解していることを、場面場面における中核的な問題点や論点を明確に指摘するすることで示すことができる ■ 社会的責任を全うする組織の実現に向け、戦略の枠組みを構築することができる ■ 社会的責任を全うするリーダーシップが、なぜ・どのように、グローバル・バリュー・チェーンの中での主な事業活動において統合化されるべきか、主な理由を挙げて説明することができる
<p>リーダーシップ</p> <p>学生は、ほかの人々と効果的な協働作業を行うことができ、さらに組織全体の目標に向かって動くように他者に影響を与える能力を持つ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ リーダーシップの概念と実際の行動方策についての自分の理解を他者に示すことができる ■ 他者の発言に傾聴し、共感を示すことができる
<p>ビジネスの考え方を組み込んだ社会課題解決策</p> <p>学生は、社会課題を特定した上でその要因を分析し、ビジネスの考え方を組み込んだ持続可能な解決策を確立できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会課題を特定する能力を示すことができる ■ 社会課題の根本的な要因を分析する能力を示すことができる ■ 社会課題の要因に対する新たな解決策創出のために異なる考えを結び付ける能力を示すことができる ■ 社会課題への解決策を持続的に提供していくためのビジネスシステムを構築する能力を示すことができる

〈課程修了の要件〉

在学期間に関する要件

学生は、少なくとも 1 年(3 学期間)間の科目履修期間に加えて数カ月から2年のフィールド実習期間の間、修士課程に在学しなければならない。

ISEP の標準修業年限はフィールド実習の期間に応じ、1年4カ月から3年とする。

授業科目の履修及び修了に必要な単位数に関する要件

学生は、ISEP で指定された履修要件に従って、指定必修科目、選択必修科目、自由選択科目及びフィールド実習を履修し、必要な単位数を取得しなければならない。修了に必要な単位数は、合計34単位以上とする。

単位認定

コースシラバスに明記された評価項目について審査したうえで、最終評価スコアが100点満点中 60 点以上、またはそれと同等の評価であった学生に単位を与える。

フィールド実習

修士(社会起業経営学)の学位取得に必要とされる研究レポートでは、フィールド実習で主に行われるソーシャルビジネスの事業準備と検証についてその結果をまとめることが期待される。フィールド実習の実施場所は、学生の計画に応じて決定する。

研究レポートの提出に関する要件

学生は、指導教員の指導の下で、特定の課題についての研究の成果(研究レポート)を完成させ、期限までに提出しなければならない。

最終試験の要件

学生は、審査委員会が決定した実施方法により行われる最終試験に合格しなければならない。

GPA の要件

学生は最終学期の成績が確定した段階で、少なくとも 2.5 ポイント(4.0 ポイント中)以上の GPA を取得していなければならない。